

春の叙勲・
高齢者叙勲に
輝く

半田市から次のみなさまが令和5年春の叙勲および高齢者叙勲を受章されました。本市にとって大きな誇りであり、そのご功績に敬意を表し、お祝い申し上げます。



瑞宝双光章

せき つねお
関 常男 様
(教育功労)
元公立中学校長



瑞宝单光章

とくだ はつひろ
徳田 初博 様
(警察功労)
元県警部補



瑞宝单光章

かとう きんきち
加藤 金吉 様
(社会福祉功労)
元民生・児童委員

社会を明るくする運動
#生きづらさを生きていく



【問合わせ】生活援護課 ☎84-0655

社会を明るくする運動とは

すべての人が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて、犯罪や非行のない安心・安全な明るい社会を築くための全国的な運動です。毎年7月は“社会を明るくする運動”の強調月間です。



▲第73回“社会を明るくする運動”総理大臣メッセージ

保護司ってなに？

保護司は、犯罪や非行により「保護観察」を受けることになった人の生活を見守り、さまざまな相談に乗る民間のボランティアです。保護司会に所属し、研修・犯罪予防活動・関係機関との連絡調整・広報活動などの組織的な活動を行っています。

保護司活動体験談

外国籍の少年Aさんを担当しました。

Aさんは、小学校卒業後に来日しましたが、日本語がわからないことから学校へ通うことができず、十分な教育を受ける機会が得られませんでした。言葉の壁から、交友関係を持つこともできず、Aさんは孤立してしまいました。孤独や不安を覚えたAさんですが、多忙な両親に相談することに気が引け、誰にも打ち明けられず罪を犯してしまいました。

家庭裁判所から保護観察処分を言い渡されたAさんと面接を行いました。その面接の中で、Aさんは「日本語を学習したい」との意欲を見せたため、日本語の学習支援に同行し、Aさんを励ました。面接時の意思疎通は容易ではありませんでしたが、時間をかけて会話を重ねながら、無事保護観察期間の満了を迎えました。

半田市の外国人人口は約4,600人であり、毎年、増加傾向にあります。言葉や文化の違う国で、困難を抱えている人も多いです。そのような人たちが、地域社会の一員として取り残されることのないよう寄り添い、個性と能力を十分に発揮し、活躍できる居場所を見つける手助けをすることで、地域の誰もが「安心して幸せに暮らし続けることができるまち」となることを信じ、保護司としての活動を続けていきます。

半田更生保護サポートセンターでは、犯罪や非行をした人の立ち直りの支援を行っています。

半田更生保護サポートセンター(市役所2階)

平日10時～16時 ☎84-0683